

「高瀬川ききみる新聞・下京区140周年特集号」発行と関連イベントの開催

高瀬川ききみる会

▶担当 前川八洲男 ▶電話 077-594-2711 ▶メール d06285@nifty.com

事業目的・背景

高瀬川に沿った木屋町エリアは観光客が増え飲食店や宿泊施設も多くなっている。しかし長年地域を牽引してきた世代が高齢化する一方、増加するマンション住まいの新住民の地域参加や交流は十分ではなく、地域の貴重な環境資源である高瀬川との付き合いの記憶や日本初の路面電車が木屋町通りを走っていたこと、住民の力で高瀬川の埋め立ての危機を乗り越えてきたことなど、地域の環境や文化を住民が維持してきた歴史も継承されていない。

事業概要

高瀬川エリアにフォーカスした新聞を発行(夏7000部 秋4000部 京都新聞折込み等による配布) この地域に関わってこられた人々をインタビュー紹介、日本初の路面電車や現在残るその痕跡等を調査紹介、併せて関連イベントを開催し新旧住民や来訪者の参加と交流を促す。また記念冊子では高瀬川の歴史や町家の保存・活用、地域文化継承の取り組みなども紹介。特にこれから地域の担い手となる子ども・若者がこの地域に誇りと先進性を感じるテーマを設定した。

活動期間

高瀬川エリアの魅力を地域住民との交流を通じて再発掘、関連イベントを計画しこれらを発信することを目的に2015年2月設立「高瀬川ききみる新聞」は創刊号から17号まで延べ約11万部を発行。

成果

2019年8月「高瀬川ききみる新聞」発行と関連イベント開催

池田進写真展「高瀬川エリアにみるチンチン電車の痕跡」8/16-20「路面電車痕跡探索の高瀬川ウォーク」「高瀬舟作りワークショップ」「チンチン電車のペーパークラフトを作ろう」

2019年11月「高瀬川ききみる新聞」発行と関連展示「日本初の路面電車と高瀬舟が並走していたまち」11/28-12/1 語りの会開催(協力 伏見チンチン電車の会)

2020年3月ーのこしつたえる町の記憶ー「先進の運河・高瀬川と日本初の路面電車」下京区140周年記念を発行。

関連イベント3/6-3/8

- ① 素敵な人たち「高瀬川エリア・フォトレポート by蒼樹」
- ② ワークショップ&ミニ展示「小さな陶片から高瀬川の歴史を未来に伝える(協力ちやいれじ考古学者 鈴木康二)」

今後の予定

「高瀬川ききみる新聞」発行を続けこのエリアの魅力を更に内外に発信したい。

特に高瀬川から採取された「陶磁器のカケラたち」展示、アートと研究専門家によるワークショップは「毎日新聞」3/4で報道され、反響をよび広域からの参加者で賑わい評価も高かった。これを更に深化させて高瀬川の「これまで」と「これから」を考えてみたいと思います。



高瀬川ききみる新聞 16号 17号表紙



2020年3月 下京区140周年記念冊子

「先進の運河・高瀬川と日本初の路面電車」発行 高瀬川ききみる会 佛教大学堀江典子研究室



ワークショップ&ミニ展示「小さな陶片から高瀬川の歴史を未来に伝える」毎日新聞報道とワークショップの様子